

深浅測量用
GPS・ソナー搭載
無人リモコンボート

RC-S3

国交省新技術情報
(NETIS)登録済

GPS・ソナー搭載
自動プログラミング走行
準備時間大幅短縮
作業者の安全確保
電動モニターのため環境に配慮
操船は免許不要(無線LAN)



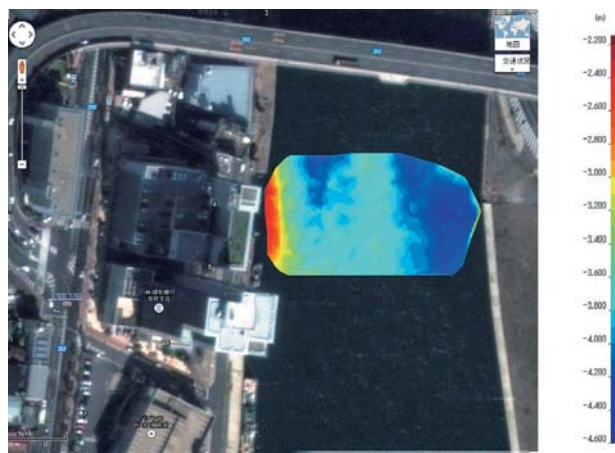
機材設置等の準備不要
↓
作業時間短縮

高精度化とコスト低減を目的として ダム等の深浅測量装置の導入による事業拡大

GPS・ソナーを搭載した「自律走行無人ボート」を導入することで精度の高い測量業務を実現し、同業他社より優れた技術で高品質のサービスを提供する事により事業の伸長を図る。

1 本事業への取り組みの経緯

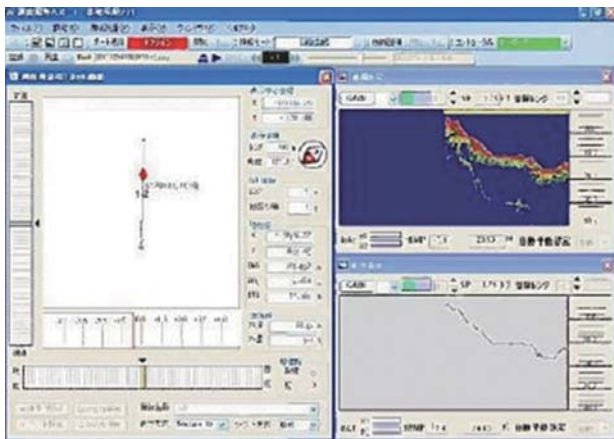
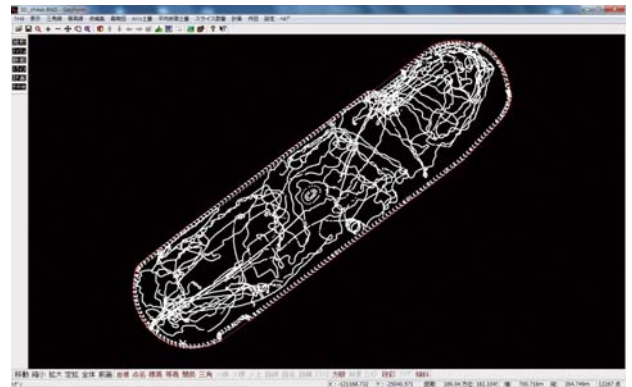
ダム等の深浅測量業務において、従来は「有人ボート」で最少所要人員4名により測量しているが、レタリングによる測量が基本で人的能力に頼る面が大きかった。そのため人件費がかかる上、高品質なデータを提供できるかが課題であった。こうした中、品質低下及び作業人員の転落等の運用リスクを回避し、コスト競争力の強化を図ることを目的に本事業に取り組むこととした。



2 実施内容

事業を実施するにあたり、既存業務に支障なく新技術導入から実用段階まで到達するため、人的・時間的ゆとりを持った運用計画・計画進捗及び管理体制の構築を検討した。

続いて、GPS・ソナーを搭載した「自律走行無人ボート」を導入し、納入業者技術者の指導の下、現地にて操船技術の習得、データ取得専用ソフトの操作及び現地測量で得られたデータ解析処理の技術習得を行った。さらに有人ボート使用と無人ボート使用によるシミュレーションを実施し比較検証を行った。また、技術セミナー等において、習得した新技術の周知活動を幅広く実施した。



3 取組成果・波及効果

業務受注時における工程をシミュレーションし、従来手法による業務遂行時の所要人員とコスト試算の上対比し、課題であるコスト低減がどの程度計られるか検証、低減が図られている事が確認できた。また、得られるデータ精度が高く、従来手法と比べて遜色ない事も検証の上確認することができた。

高精度な測量結果を必要とする民間事業者から多くの問い合わせがあり、現実として業務受注に繋がっており、今後の伸長が期待できる。



代表取締役社長

中島 一敏

今後の展望・活動予定は？

既存インフラの維持管理意識の高まりを受け、高精度な測量成果はもとより「経年変化の管理」等従来の手法では困難であったニーズが生まれてきています。さらに、データ収集・分析において、コストを抑えると同時に高精度で信頼性の高い技術に注目が集まっています。本事業はこの様な情勢に対応し貢献できる事業として、今後も効率的・効果的に営業・測量活動していく方針です。

事業者

株式会社地域開発

代表者

中島 一敏

所在地等

〒850-0022 長崎県長崎市馬町56

TEL 095-820-8430

FAX 095-820-8431

<http://www.chiiki-kaihatsu.com>

yokota@chiiki-kaihatsu.com



設立年月

昭和47年12月

資本金

10万円

業種

建設コンサルタント

従業員数

19名